

## V 土壌診断基準

土壌診断基準値は、作物を栽培するに当たって、栽培前の土壌の化学性を当該作物の生育に最善の土壌化学性とするための基準で、適正值の上限と下限を設定したものである。また、作付け前の土壌化学性がこの範囲にあるときに施肥基準どおりの施肥を行えば、作物の生育にとって過不足のない施肥となる。

交換性石灰・苦土・カリについては飽和度で基準を示している。これは、塩基バランスを考慮して決めた値である。ただし、土壌の陽イオン交換容量が低い場合については、塩基バランスはとれているが、各々の成分の絶対量が不足することが考えられるため、陽イオン交換容量が低くなるに従い飽和度の適正值を高く設定してある。

以下に土壌診断基準の表の見方を記す。

凡例		交換性石灰飽和度%			
(作物名)	pH	EC	1	2	3
シコクビエ					
下限	5.8	0.10	67	56	53
上限	6.6	0.30	81	70	67

CEC 20me/100g 以上の土壌に適応する基準  
 CEC 10-20me/100g の土壌に適応する基準  
 CEC 10me/100g 以下の土壌に適応する基準

上段が適正範囲の下限  
 下段が適正範囲の上限

ここで言うpH、ECの値は、重量比で土壌:水=1:2.5 の値